

製品名: ASH2L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00052**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 69 kDa; Observed MW: 69 kDa

抗原情報

遺伝子名	ASH2L
別名	ASH2; Bre2; ASH2L1; ASH2L2
遺伝子 ID	9070
SwissProt ID	Q9UBL3
免疫原	ヒト ASH2L の合成ペプチド

背景

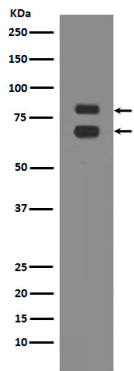
Set1/Ash2 ヒストンメチルトランスフェラーゼ (HMT) 複合体の構成要素。この複合体はヒストン H3 の Lys-4 を特異的にメチル化

するが、隣接する Lys-9 残基が既にメチル化されている場合はメチル化されない。MLL1/MLL 複合体の一部として、ヒストン H3 の Lys-4 のメチル化およびジメチル化に関与する。転写調節因子として機能する可能性がある。造血において役割を果たす可能性がある。

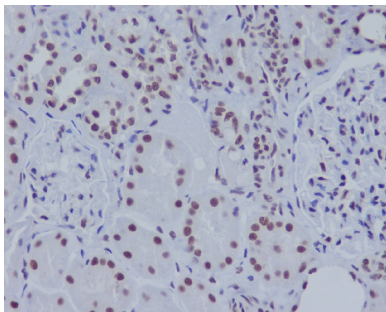
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



ASH2L 抗体を使用した K562 溶解物中の ASH2L のウエスタン ブロット分析。



ASH2L 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。